

## 当院で心臓手術を受けられた患者さん・ご家族様へ 研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等は行いません。ご自身 またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当 者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある 場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、 解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

### 【対象となる方】

2025年9月から研究許可日の間に、体外循環を使わず心臓を拍動させたままの冠動脈バイパス手術(オフポンプ冠動脈バイパス手術)を受けた方

### 【研究課題名】 機械学習心拍出量モニターの実用化を目指した臨床研究

### 【研究責任者】

国立循環器病研究センター バイオデジタルツイン研究部 研究室長 上村和紀

### 【研究の目的・意義】

心臓から 1 分間に送り出される血液量のことを心拍出量といいます。心拍出量は、血圧とともに循環器疾患の患者様の管理を行う上で重要な指標です。この研究は、心拍出量を正確かつ簡便に計測できるモニターの開発を目的にしています。オフポンプ冠動脈バイパス手術の際は、診療の一環として心拍出量や血圧が計測され、診療録にデータとして保存されます。この保存データを、心拍出量モニター開発に用います。この研究の成果により開発される心拍出量モニターは、将来的に安全な心臓手術や、循環器疾患の患者様の治療成績改善に繋がることが期待されます。

### 【利用する診療情報等】

- 通常診療の一環として、診療録に記録される手術日時点の年齢・性別・身長・体重・病名・術式
- 通常診療の一環として、手術時に肺動脈カテーテルを体内に配置しますが、このカテーテルによって手術中に採取され記録される連続心拍出量値、肺動脈圧と右心房圧波

形のデータ。

- 通常診療の一環として手術時に、手の動脈に血圧測定用のカテーテルを配置しますが、このカテーテルによって手術中に採取され記録される血圧波形のデータ。

【情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2028 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2026 年 1 月 19 日

【個人情報の取り扱い】 お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で 公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】 この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはできません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター

バイオデジタルツイン研究部 研究室長 上村 和紀

麻酔科 医師 伊藤 芳彰

電話：06-6170-1070